

きらめき

2022年 10月21日

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 齊藤 慎也

通建連合『一斉安全休工日（9月）』 実施結果について

通建連合「一斉安全休工日」の取り組みについては、組合員は勿論のこと現場第一線で働く労働者の心と体の健康管理は基より、リフレッシュを図り安全労働を確保する観点から6月・7月・9月・11月の第2土曜日を設定し、各職場における安全衛生委員会等の場での協力要請の他、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

今年度3回目となる9月10日（土）の実施結果は、下表のとおりとなります。

TTKグループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
9月	業務区分割合	120	93 (77.5%)	27 (22.5%)	0 (0%)	100%
	人数割合	2333	2212 (94.8%)	121 (5.2%)	0 (0%)	100%
7月	業務区分割合	120	91 (75.8%)	29 (24.2%)	0 (0%)	100%
	人数割合	2330	2200 (94.4%)	130 (5.6%)	0 (0%)	100%
大和グループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
9月	業務区分割合	58	24 (41.4%)	34 (58.6%)	0 (0%)	100%
	人数割合	1089	986 (90.5%)	103 (9.5%)	0 (0%)	100%
7月	業務区分割合	58	27 (46.6%)	31 (53.4%)	0 (0%)	100%
	人数割合	1098	998 (90.9%)	100 (9.1%)	0 (0%)	100%

人員割合における第二土曜日当日での実施率は90%台と高い水準を維持しており、当月内土曜日での読替を含む実施率は6月・7月に続き100%を継続する結果となりました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

ただし、読替実施となる方々の理由は依然として「業務繁忙」が多く、皆が休める職場環境作り・体制整備が重要であると考えます。

インフラ東北は、休むことにより心身共にリフレッシュを図り安全労働に繋げるとの観点で今後も読替を含む実施率の維持および第二土曜日当日での実施率向上に向け取り組みを継続していきたいと考えますのでご協力をお願いします。



通建連合『一斉安全休工日』 第4回実施日

2022年11月12日（土）

11月は「過労死等防止啓発月間」

情報労連は11月を「過労死等防止啓発月間」に設定し、「過労死ゼロ」実現の重要性の周知・意識啓発を行うことで長時間労働を是正し、安心して健やかに働くことのできる職場環境づくりに取り組むこととしております。

テレワークや裁量労働制などで働くときは、特に労働時間管理が重要だよ!



自分の働き方や、自分のところとからだを、チェックしてみませんか?

働きすぎやハラスメントを受けることで、気づかぬうちに「こころ」と「からだ」のバランスが崩れ、不調に陥ってしまうかもしれません。「こころ」も「からだ」も元気な状態にしておくために、チェックリストを活用して、定期的に自分の状態を確認してみましょう。

あてはまることはありませんか?



ストレス の原因となる事例

Check

- ☐ 長時間労働が続いている
- ☐ 深夜や休日にも仕事をしていることが多い
- ☐ 仕事とプライベートの時間の区別がつけられない
- ☐ 仕事の作業環境がよくない
- ☐ 仕事の内容や仕事量、役割が大きく変わった
- ☐ 仕事で大きな失敗をしてしまい責任を問われた
- ☐ 職場での孤独感や疎外感を感じている
- ☐ ハラスメントを受けている
- ☐ 収入や雇用に不安を感じている
- ☐ 周囲に相談相手がいない

心当たりはありませんか?

メンタル



の不調時に表れやすい症状の事例

Check

- ☐ 遅刻や早退をしてしまうことが増えた
- ☐ 月曜日(休み明け)に突発的に休むことがある
- ☐ 最近、仕事のメ切に遅れることが多い
- ☐ 以前と比べて疲れやすい
- ☐ 居眠りをしてしまう、眠れない・夜中に目が覚める
- ☐ 頭痛や腹痛、吐き気など、体調がすぐれない
- ☐ 食べる量が減った、食欲がない
- ☐ 何かと自分を責めてしまう
- ☐ 急に気分が高揚したり、沈んだりする
- ☐ 何をやってもつまらない



結果をみて「おやっ?」と感じたら、職場の労働組合や相談窓口、心療内科等に相談してみよう

厚生労働省

こころの耳 相談窓口

ハラスメント悩み相談室

連合

過労死等防止
特設ページ



長期化するコロナ禍における働き方・生活の変化によって、気が付かないうちに不安やストレス、疲れが溜まっていませんか?

疲労の蓄積は心身の健康状態の低下を招きます。ご自身や職場の仲間、ご家族の働き方を見つめ直す機会として上記のセルフチェック表を活用してみてはいかがでしょうか。